



# AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行：横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 年4回発行(1月4月7月11月)

## 年頭のご挨拶

横浜スペイン協会 会長 下山利明

2021年の新しい年を迎え、皆様方のご多幸を心からお祈り致します。

昨年は、未だかつて誰も経験したことがなかった大激動の年でしたが、おかげ様で創立30周年を無事に迎える事が出来ました。スペイン大使館への桜寄贈(2月)、私たちのスペイン展(9月)、30周年記念音楽会・パーティー(11月)など記念イベントを開催し、皆様と共に喜びを分かち合いお祝いしました。4月に予定していたメインイベントのロンダ市へのさくら植樹と市民交流が、コロナの感染拡大により、急遽取り止めになったことはとても残念でした。30年の歴史を語るうえで特筆すべきことは、現在在籍している95名の個人会員のうち20年以上の永年継続会員が15名もいらっしゃる事です。わたくし共のようなボランティア団体の運営を長期に渡り継続していくことは大変な努力が必要です。ここまでやってこられたのは、歴代の理事を中心とした会員の皆様のスペインに対する、強い思い、情熱が引き継がれてきた賜物であり、諸先輩の方々に心から敬意を表したいと思えます。さて、25周年からの5年間を顧みますと、長年中断していたスペインでのさくら植樹の復活、各地のスペイン協会との交流の推進、スペイン語クラスの新クラス増設、スペインサロン・スペインサークル活動の活性化、など協会の活動が益々拡大しております。これから35周年及び40周年に向けて、さらに魅力ある協会として活動して行きたいと思えます。引き続き、ご支援のほど、よろしく願い申し上げます。まだまだ新型コロナの収束が見えておりませんが、どうぞ皆様、健康には十分お気をつけてお過ごしください。

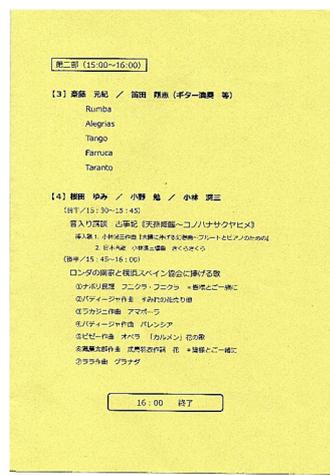
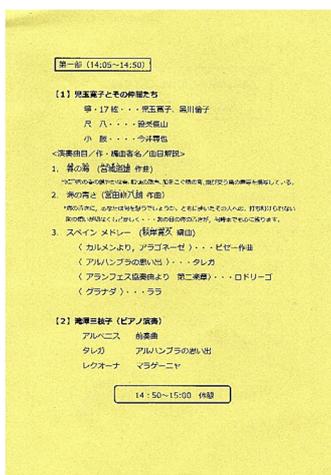
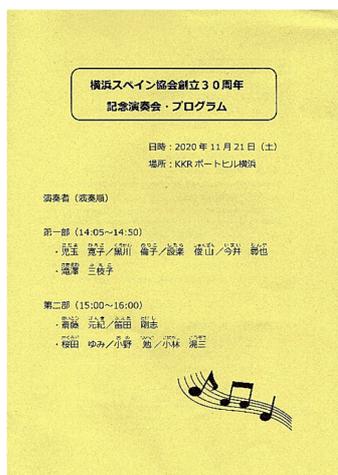
### 2021年 横浜スペイン協会 活動計画

	協会行事	スペイン語教室	スペイン・サロン	スペインサークル	会報
1月		クラス委員会	関先生の30周年記念講演会(延期分)と文化講座を予定。(日時は別途決定)	*旅でスペインを識ろう会 毎月第2月曜日 (1月、8月はお休み)  *スペイン語でボランティア (サークル Vente Vente) 毎月第1火曜日 分科会第3火曜日	新年号
2月					春号
3月	スペイン大使館観桜会				夏号
4月		前期講座 開始			秋号
5月	定時総会(5/29)				
6月					
7月		クラス委員会			
8月					
9月					
10月	National Day 式典	後期講座 開始			
11月					
12月					

\*コロナウイルス感染の収束が見えない中、状況を見ながら、適宜 活動可否の判断をいたします。

# 横浜スペイン協会 創立 30 周年記念 「音楽会・パーティー」 報告

2020年11月21日(土) KKR ポートヒル横浜にて、第1部は「音楽祭」そして第2部は場所を移し「パーティー」という進行で記念行事が行われました。コロナ禍での開催でもあるため、万全の対策を設け行われました。音楽祭では、分野の異なった音楽家の皆さんの素晴らしい演奏や歌、さらに音入り講談が上演されました。この音楽会では、日本とスペインの様々な楽器の音色や歌声、また古事記を引用した楽しい講談劇や協会の原点ロンダの画家に捧げる歌等、日本とスペインの音楽での交流を楽しむ、そんな時間を過ごすことが出来ました。その後、会場を移動してパーティーの開催となりました。下山会長の開会の挨拶で始まり、山崎前会長の乾杯の挨拶、栗山先生の長〜く楽しいスピーチそして、永年会員(在籍20年以上の会員)の表彰等が行われました。また今回のパーティーにおいての見どころである、ベネンシアドールが、幸山氏により行われ、会場の皆さんはとても楽しんでいました様子でした。音楽会&パーティーと忙しくはありましたが、スペインと日本との文化交流の楽しさを味わった1日でした。(武菱 邦夫)



## 永年継続会員の皆さま (敬称略)

- (30年) 栗山由美子 石元道子 広瀬勝亮 松本益代 (29年) 中山陽子 (27年) 角井正義  
 (26年) 須崎美恵子 (25年) 石井加奈弘 久安邦明 (24年) 大森悠爾 島津豪亮  
 (22年) 千葉博子 (21年) 牧瀬貢 (20年) 山崎宗城 江口吉光



\* 神戸日西協会 会長 下村俊子様より祝電を頂きました。  
 「1990年7月7日に設立なさいました横浜スペイン協会様、  
 正に本年2020年に創立30周年をお迎えになられましたこと、真におめでとうございます。会員各位のおよろこびに深く敬意を表し、心からのご挨拶を申し上げます。どうぞわたしどもの歩みをも御導きくださいませ。」

\* 賛助会員の日西商事様よりスペインワイン（紅白）12本を寄贈して頂きました。記念パーティーの各テーブルに提供し、出席された会員の皆様で美味しくいただきました。ありがとうございました。

## ●スペイン語クラス

\*4月開講予定の「入門クラス」のご案内

スペイン語教室の「入門クラス」を4月より以下の通り開講致します。スペイン語を初めて勉強される方、以前少し勉強したけれどもう一度基礎から勉強し直そうとお考えの方、まずは見学にお越しください。

講師： 栗山由美子先生  
受講日時： 原則第1・2・3木曜日、10:30~12:00  
受講場所： 横浜駅近くの貸し会議室を予定

\*4月開講予定の「文法クラス」のご案内

期間限定の「文法クラス」を4月から7月まで計8回以下の通り開講致します。購読や会話のクラスを受講してきたけれど、再度文法を勉強したいとお考えの方受講をご検討ください。講義の詳細は1月中にお知らせする予定です。

また講義はZoomによりリモートで行います。Zoomを初めて利用される方には事前に接続方法をご説明し、テストなども行いますのでご安心ください。

<基礎編>

講師： 山田るりこ先生  
受講日時： 4月第2・4火曜日、5月第4火曜日、6月第2火曜日、10:30~12:00 (計4回)

<応用編>

講師： 栗山由美子先生  
受講日時： 6月、7月第1・3金曜日、10:30~12:00 (計4回)

## ●スペインサークル

《旅でスペインを識ろう会》

下記の内容で行われました。

【10月回】 10月12日(月)15時~17時 於かながわ県民センター604号室  
発表者：牧瀬 貢様  
タイトル：「スペインってどんな国」

【11月回】 11月9日(月)15時~17時 於かながわ県民センター1502号室  
発表者：牧瀬 貢様  
タイトル：「スペインの風景に魅せられて」

※次回1月は休会で、2月に開催を予定しています。



## ●スペイン・サロン

12月5日に開催予定の関哲行先生の講演会は、コロナ禍の再拡大により、「開催延期」となりました。今後は、コロナ禍の状況を見つつ、適当な時期に開催できればと思っております。この度、講演会にお申込み頂きました皆様、ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

## ●シネマサロン

「おもかげ」(Madre) 2019, スペイン、フランス

監督・Rodrigo Sorogoyen

エレナが6歳の息子から「パパが帰ってこない」と電話を受けるところから始まる。息子はエレナの元夫とフランスの海岸へ行っていた。「どこなの？」―「海」、「誰か来た！」―「隠れなさい！」のやり取りの後電池切れで彼の声は途絶えてしまう。

10年後、エレナは息子がいたと思われる海辺のレストランで働いていた。大きな波、暗い浜辺は北スペインからフランスへと続く海か？大きな波音が喪失感を抱えて生きてきた母親の気持ちを強く表している。ある日、息子が元気でいたらこのような少年に？と思える男の子・ジャンに出会う。後をつけていくと、パリから家族で避暑に来ていることがわかる。昼間は仕事の忙しさで気がまぎれるが、どうしても我が子では？という思いを振り払うことができない。ジャンもお茶を飲みに来て覚えてたのスペイン語で話をするようになる。エレナを大人の女として慕うようにも。昼も夜も遊びまわる避暑客の中にジャンを探してしまうエレナ。彼の家族からエレナと合うことを禁じられたり、地元の客からは何年も前に行方不明になった息子を探している頭のおかしいスペイン人などとさげすまされる。

やがて避暑の季節は終わる。楽しい思い出を共有してジャンを送り出す。エレナは仕事をやめる決心をする。支えてくれた恋人は彼女の気持ちを理解できず去っていった。責めていた元夫をも許すことにする。あの子はどこかで生きている―そして私も生きる。(松本益代)



## ●スペイン文学余話 (10)

『春のソナタ』(1904年)に見るローマ教皇庁

バリエ＝インクラン (1866-1936) の出世作『ソナタ』4部作は、信心深く感傷的な醜男でありながら、完璧なドン・ファンであるブラドミン侯爵の回想録の体裁で書かれている。17世紀の「ドン・ファン」と同様に、主人公は単なる色事師ではなく神に逆らう背徳者である。4部作の随所にキリスト教への言及が認められるが、『春のソナタ』ではその傾向が顕著で、作品の理解には19世紀のカトリック教会についての知識が求められる。舞台はイタリアの架空の地方都市リグーラ。当地の司教が枢機卿に任命されることになり、ローマ教皇に仕える主人公が任命状を携え使者として派遣されるのだが、司教は出自であるガエターニ家の城館を訪ねて事故に遭い、館の一室で死にかけていた。当主のガエターニ公爵はすでに亡くなり、城館にはスペイン貴族の出である公妃と五人の娘たちが暮らしていた。公妃の招きで館に滞在することになった侯爵は、修道院入りをひかえた長姉マリア・ロサリオに恋をする。侯爵の情熱的な求愛は、やがてとりかえしのつかない悲劇的な結末を迎えることになる。ところで侯爵は貴族衛兵として教皇に仕え、その軍服は人目を引くほど立派なものだった。16世紀に創設され、現在も教皇庁の警備を務めるスイス衛兵は、ルネサンス風の派手な制服で知られるが、その名のとおりスイス人のみで構成される。これとは別に1802年に創設された貴族衛兵 Guardia Noble は、教皇領の貴族子弟による無給の奉仕活動で、教皇への忠誠の誓いは(自明なので)免除されていた。傭兵であるスイス衛兵より格上だったが、「教皇領の貴族」という条件に

は、スペイン出身の主人公のような例外もあったようだ。貴族衛兵は1970年に廃止された。「教皇が国王でもあった幸福な時代 los felices tiempos del Papa-Rey」という設定もわかりにくい。統一運動により1870年に教皇領が併合されるまで、教皇はイタリア最大の領土を統治する君主でもあったから、ここではピオ9世の治世(1846-78年)をさすと思われる。領地を失い宗教的な権威としてのみ存在することになったローマ教皇庁はイタリア政府と絶縁した。ムッソリーニと条約を締結し独立国家となるのは1929年である。(吉田彩子)

※スペイン通の当協会会員の皆さんから好評の「スペイン文学余話」は今号を持ちまして一旦終了となります。吉田先生には2年半の間、興味深いスペイン文学よもやま話を連載して頂き誠にありがとうございました。(下山綾子)



## ◆横浜スペイン協会会報 (AIYES 通信) 創刊号のご紹介

1990年7月7日、横浜スペイン協会が創立されました。創立から30年が経過して、会報は今号で96号目となりました。創刊号には協会設立の趣旨及びその経過について、とても興味深く当時の様子をうかがい知る内容が掲載されておりますので、この機会に皆様にご紹介いたします。設立の始まりについての大切な事をここに抜粋いたしました。全文は協会のホームページ・活動内容のAIYES通信からお入りいただき「AIYES通信第1号」をお読みください。また、創刊号には事業計画の概要も記載されています。事業概要の一番はじめに『桜をスペインに植樹し、文化交流の促進を図り、日本とスペイン両国間の伝統的な友好親善関係の発展に寄与する』と記載されています。桜を活動のシンボルとして、多くの仲間が集まり協会を立ち上げた、30年前の人達の熱い思いが伝わりその魂を感じる事が出来ます。会員の皆さまの今後の活動の参考にして頂けたら幸いです。(下山綾子)

(抜粋)

### 当協会設立の趣旨及びその経過について

この度「スペインに日本の桜を植樹し、交流の絆を太く強くしよう」との長年にわたり関係者が抱き続けてきた構想を具体化するため、これまで国際交流に深い理解と実績を持ち幅広い活動をしている関係者が集い、1990年7月に「横浜スペイン交流協会」が設立されました。(中略)スペインに植樹した日本の桜が大きく成長するほどに、日本とスペイン市民相互の交流が深まり、両者の絆も太く強く成長しつつ、両者の友好親善関係の発展を支えていくことになると確信しております。私共は、この様な趣旨を踏まえて、スペインへの桜の植樹事業を鋭意推進することはもとより、スペインとの文化交流に関する諸事業や行事に積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

※協会名について…

当協会は「横浜スペイン交流協会」として1990年に発足しましたが、2004年に名称を現在の「横浜スペイン協会」に改称しました。旧名称の La Asociación del Intercambio entre Yokohama y España から略称とした「AIYES」は、愛称として残そうという事になり現在に至っています。

「横浜スペイン協会」のスペイン語での名称は Sociedad Hispánica de Yokohama です。

# 横浜スペイン交流協会会報

La Asociación del Intercambio entre Yokohama y España

1990年11月1日発行 創刊1号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

## スペインとの文化交流を!

横浜スペイン交流協会  
会長 下山貞明

国際都市横浜に、この度「横浜スペイン交流協会」が、発起人をはじめ会員の皆様のご協力により設立されましたことを皆様と共に心からお慶び申し上げます。

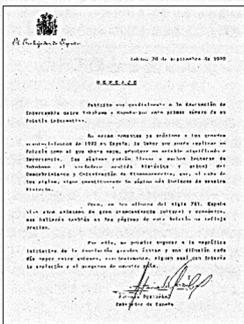
いま、スペインは、1992年のバルセロナ・オリンピック、セビリア万博、コロンブスのアメリカ大陸発見500年祭、更に、E.C市場統合という画期的な年を迎えようとしています。この期に、スペインが大好きな仲間達が協会を設立し、良い出

会いが始まる機会を得たことは誠に素晴らしいことと存じます。何と言っても、国際交流は、急いでその成果を求めるものではなく、会員相互の楽しい触れ合いの中から生まれる思の長い、心の通った文化活動であると思います。それには、会員の皆様が協力し合い、みんなで協力を大きく育てて行くという心づもりで、地道に実績を重ねながら、スペインとの絆を深めてまいりたいと念願している次第です。

## 大きな成果を予言して

在日スペイン大使  
アントニオ・オヤルサルバ

●在日スペイン大使  
「メッセージ」の原文



メッセージ

この度の会報第一号発刊に際し、横浜スペイン交流協会に対して心からお慶び申し上げます。

1992年にスペインで実施されます大きな行事が間近にせまったこの時期に会報を発刊されるということは、明らかな意義と重要性を有しております。貴報の紙面は、横浜の多くの読者に、イスマ/アメリカの発見と植民地化の歴史的、かつ今日的な意義をもたらすものでありましよう。そして、今世紀末には、我々の歴史の輝かしい1ページを作り上げるでしょう。

しかるに、21世紀初頭には、スペインは更に文化的、経済的に重要なときを迎え、貴会報の紙面にも、貴重な反映をみることができると信じています。

それゆえ、横浜スペイン交流協会の素晴らしいイニシアティブに対し、当地で我が国が有意義に進歩、発展し続ける大きな成果が生じ、日増しに広がるであろう事を、あえて予言させていただきます。

## 当協会設立の趣旨及びその経過について

日本とスペインは400年余にわたり友好関係を築いてきましたが、特に第二次世界大戦後は政治的にも経済的にも文化的にも交流が進展し、両国の友好親善関係が深まりつつあります。

横浜市においても、港南区長が中心になって、1984年にセビリア市への友好親善訪問など様々な文化交流事業が行われました。この間、ロング市に住み、日本とスペインとの文化交流に情熱を傾けている名譽アンクルシア人香田美樹園伯と親密な交友関係が生まれ、また、日本とスペインとの友好親善関係増進に実務を持つ「日本マドリッド会」やスペイン大使をはじめスペイン関係者とも友好関係が結ばれ、このような多くの方々のご理解とご支援により文化交流事業に顕著な実績をあげることができました。

この度、「スペインに日本の桜を植樹し、交流の絆を強く長くしよう」との長年にわたり関係者

が抱き続けてきた構想を具体化するため、これまで国際交流に深い理解と実務を持ち幅広い活動をしている関係者が集い、1990年7月に「横浜スペイン交流協会」が設立されました。

最近における日本とスペインの関係は緊密化の一途をたどっていますが、特に、1992年のバルセロナ・オリンピックやセビリア万国博覧会の開催、コロンブスのアメリカ大陸発見500年祭の年であり、加えて、E.C市場統合という画期的な年でもあるため、スペインに対する関心がこれまでになく高まっており、両国の友好親善関係は大きく発展するものと確信しております。

このような時期に「横浜スペイン交流協会」が発足したことは、誠に象徴的であり、意義深いものがあると存じます。

今後、両国の関係が大きく進展するに伴い、スペインに在勤、在在する日本人あるいは旅行する

日本人が急増するでしょう。申すまでもなく、政治的、経済的、文化的交流のいずれにおいても、人と人の太く強い絆があってこそ、それに支えられて発展していくものと考えます。スペインに植樹した日本の桜が大きく成長するほどに、日本とスペイン市民相互の交流が深まり、両者の絆も大

く強く成長しつつ、両国の友好親善関係の発展を支えていくことになると確信しております。

私共は、このような趣旨を踏まえて、スペインへの桜の植樹事業を積極推進することはもとよりスペインとの文化交流に関する諸事業や行事に積極的に取り組みでまいりたいと存じます。

## ☆1990年度事業計画概要☆

【事業概要】

- 1 桜をスペインに植樹し、文化交流の促進を図り、日本とスペイン両国間の伝統的な友好親善関係の発展に寄与する。
- 2 会員相互の交流及び親睦を図る。
- 3 スペインとの文化交流に関する啓蒙その他諸種の会を開催する。
- 4 国際的文化交流に関する諸種の行事に参加する。

【1990年度事業計画】

- 1 創立総会を開催する。(7月7日)
- 2 理事会及び広報・企画等の会議を必要に応じて随時開催する。

- 3 会員懇談会(会員相互の情報交換等)を開催する。(8月25日、26日、9月8日)
- 4 会報を発行する。(創刊号 11月)
- 5 創立記念パーティを開催する。(12月)
- 6 スペインの文化・現代事情等の話しを聞く会、スペイン料理を食べる会等を開催する。
- 7 スペイン友好親善旅行の企画等の準備を進める。
- 8 桜の植樹事業について、その実現へ向け、引続き、調査・情報収集・関係機関への働きかけ等を行い、スペインにおける受入れ体制が早期に整うよう努力する。



## \*\*\*\*\* 新会員紹介 \*\*\*\*\*

中園 竜之介 (Nakazono Ryunosuke)

東京都中野区在住 2021年1月入会

遅ればせながら入会させていただきます。これから皆さんとのさらなる交流楽しみです。

児玉 寛子 (Kodama Hiroko)

横浜市旭区在住 2021年1月入会

1985年前より私の箏の個人的リサイタルやコンサート、そして三溪園四季のイベント出演をご覧下さったのか、初代下山貞明会長より入会のお誘いを受け、元来スペイン国が好きだったので即入会致しました。初めてのスペイン国でのさくら植樹の式典には、私は一人箏を持参し式典に参加演奏。その他折に触れて箏でお手伝いをしておりましたが、持病の悪化やら演奏活動が多忙になり退会しておりました。やはり好きな国のことや協会の事は気になっておりました。昨今、武菱理事よりお誘いを受け、若い方の様にまめに活動できるか不安ですが、再入会を承諾し申し込み致しました。

## 協会からのお知らせ

### ※重要なお知らせ

\*会員の皆様《会費振込のお願い》

2021年度(2021年4月1日から2022年3月31日)会費を、下記要領にてお振込みのほどよろしく  
お願いいたします。

### 記

1. 年会費      会員 3,000 円      賛助会員 10,000 円
2. 振込先      みずほ銀行 鶴見支店 (店番号 362)  
普通預金      口座番号 2518340  
口座名義      横浜スペイン協会
3. 振込期限      2021年3月31日 (2021年1月6日より振込受付開始)  
《注意事項》-誠に恐縮ですが、振込手数料は会員様にてご負担お願い致します。

\*「2021年新春親睦パーティー」中止のお知らせ

例年、2月に開催しております「新春親睦パーティー」ですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、開催中止を決定致しました。

## <<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住 所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア 1杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア 1杯無料
La Iberica	横浜市西区北幸2-6-5 GEMS横浜3F	045-620-2156	タパス 1つ無料

《編集後記》2020年は横浜スペイン協会の創立30周年でした。つまり30歳。同級生には誰がいるのかな？と調べてみました。まず、TVアニメ化したちびまる子ちゃん(実年齢？は9歳)、任天堂スーパーファミコン(今では考えられないソフトはカセット、年齢を感じます)、キティーちゃんでお馴染みのサンリオピューロランド。ちなみにサンリオとはSan Rioつまり聖なる川、スペイン語みたいです。そして、アイススケートの浅田真央ちゃん。オリンピックで活躍したあの真央ちゃんがもう30歳！現役を引退してからも大活躍ですね。横浜スペイン協会もまだまだこの先も活躍し続けます。(A.S.)

編集長/下山綾子 編集委員/岩田岳久 大戸正彦 下山利明 武菱邦夫 服部君江 原健三郎 平本紀子 松村清

投稿寄稿宛先 E-mail 全般：info@yokohama-spain.jp  
スペイン語教室：spanish\_class@yokohama-spain.jp  
スペイン・サロン：spain\_salon@yokohama-spain.jp  
ホームページ：http://www.yokohama-spain.jp

横浜スペイン協会

今回の原稿締切は

3月15日(月)です